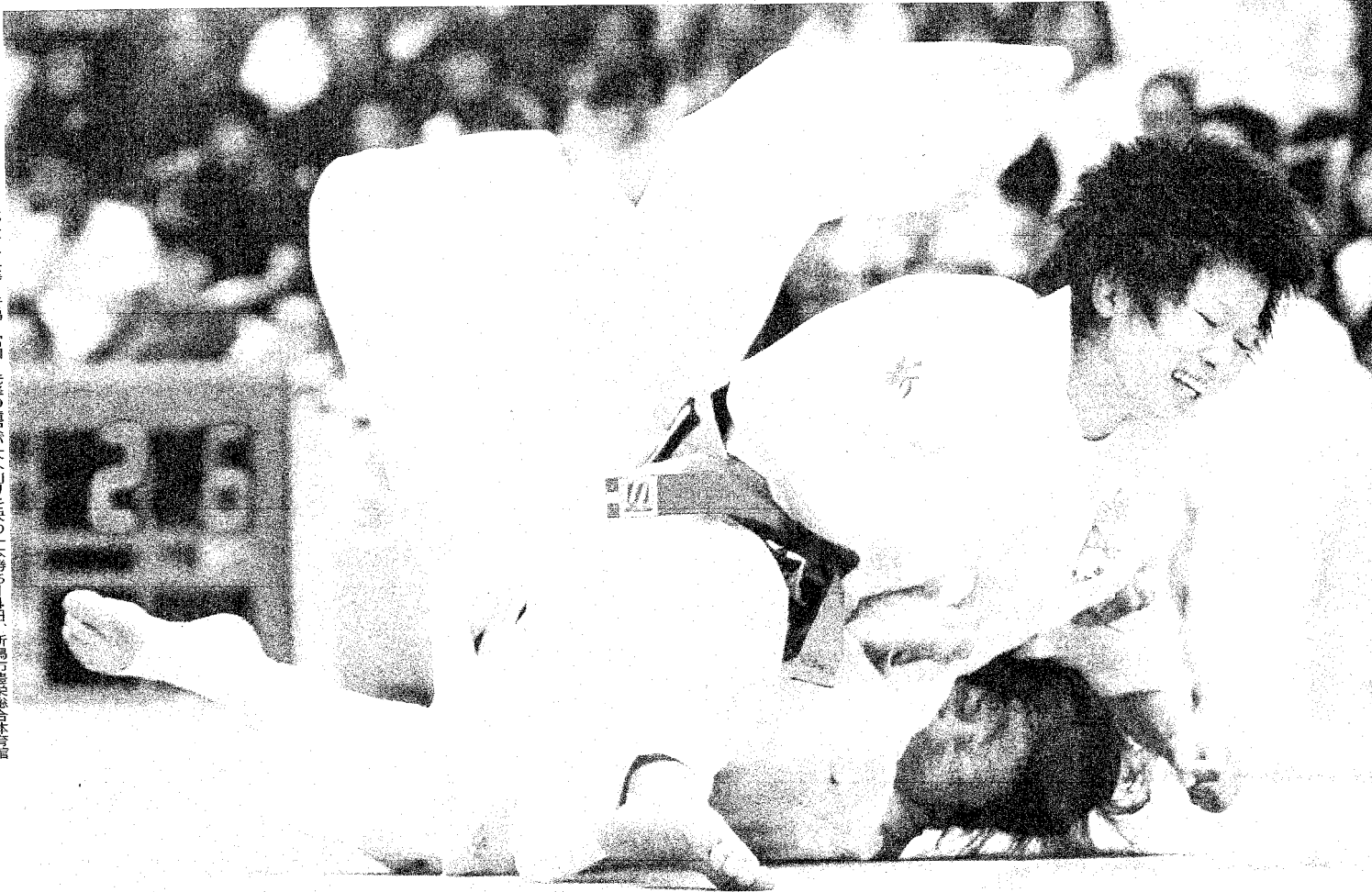


猛攻しのぎ金字塔



成年女子決勝 新潟―富山 先鋒の滝沢が大外刈りを決め一本勝ち4日 新潟市中央総合体育館

成年女子
初優勝

チーム一丸難敵連

第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」第9日は1日、県内各地で10競技を行った。県勢は柔道、成年女子が同級で初の優勝、純剣道の少年も初の王者となった。セーリングのウインドサーフ、級は成年男子の宮原慎（関東自動車工業）と、同級の小菅肇子（県立徳島）が制した。剣道も少年男女がそろって頂点に立ち、日程を1周して同級総優勝を決めた。
空手も選手団体が優勝し初の総優勝。陸上は成年女子の600斤の渡辺昌子（チリ）と、岡田雅博の豪傑（新潟アルビレックスRC）が2位と健闘した。少年女子A100斤階級の高橋麻実（小出尚）は4位に食い込んだ。

トキめき2009
新潟国体
第9日

カヌーのスラローム・カヤックシングル（25ゲート）は成年男子体協が2位に入り、成年女子の山田亜妃（国際自然環境アウト3位）、フェンシングは少年男子フルレが4位入賞した。バレーボールの成年男子も入賞、バスケは4位、ホルルの成年男子は、B1は成年が初めての決勝進出、ホッケーも少年女子が決勝に駒を、少年男子が4強入り。ホッケーは6人が準決勝進出を決めた。男女総合成績（天皇杯）は本県が1806点で首位をキープ。2差をつけている。